

# 第1章 まちの将来像

## 1) これからの都市づくりの視点

“近年の我が国の動向”“町民意向の把握”“益子町の現況と課題”等の内容を踏まえ、都市計画マスタープラン（既存計画）の見直しにあたり重視すべきポイントを“これからの都市づくりの視点”として以下のとおり整理します。

### ① 環境との共生を重視する

- ・生物多様性の保全を念頭に、ふるさとを思い起こさせる川や里山の恵まれた自然資源を大切に守り活かしていく。
- ・環境に負荷のかからない資源循環型社会の形成や低炭素まちづくりの取り組みを促進する。

### ② 益子の伝統や文化を活かす

- ・益子焼に代表される伝統・文化の伝承に努めるとともに、町民の益子に対する誇りや愛着を高め、多くの来訪者の目に触れることができるよう、これからの都市づくりに活かしていく。



■国指定重要文化財：綱神社

### ③ 観光の機能を充実する

- ・益子焼や豊かな自然、由緒のある歴史・文化資源、観光果樹園、陶器市・土祭（ひじさい）・ポターリングましこのイベントなどを活用し、町内を周遊する滞在交流型の観光促進や周辺市町との連携による観光圏の整備など、観光機能の更なる充実に向けた環境づくりに努めていく。



■多くの観光客が訪れる陶器市

### ④ 広域の連携や交流の機能を高める

- ・日常の暮らしにおいてつながりの強い県都宇都宮市や副次的都市である真岡市等とのアクセス環境を充実させる。
- ・広域交流による発展の可能性を飛躍的に高める北関東自動車道（真岡 I C・桜川筑西 I C）へのアクセス機能を強化する。
- ・広域交流による人の流れを的確に受け止め、益子町の活性化につなげていく環境を整える。

### ⑤ 町民生活の安全性を確保する

- ・東日本大震災や台風・竜巻などによる大規模災害の教訓を活かした防災・減災のまちづくり（公共施設等の防災機能の強化、避難路や避難場所となる道路・公園の整備、河川改修等の洪水対策、土砂災害の未然防止対策など）や体制の強化、町民の意識啓発（ハザードマップの作成など）に努める。

### ⑥ 人口減少や超高齢社会に対応する

- ・県都宇都宮市や副次的都市である真岡市との近接性を活かしながら、人口の流出を抑制し、定住を促す良質な居住環境の整備に努める。
- ・高齢者をはじめ多くの人々が暮らしやすい福祉のまちづくり（保健・福祉施設の利用環境の向上、公共公益施設のバリアフリー化など）を進める。

### ⑦ コンパクトな都市づくりを進める

- ・点在する市街地や集落地の連携・交流を強化し、益子町としての一体性を高める。
- ・拡散型の都市構造（用途地域外への小規模な宅地開発の進行など）から益子町の現在の市街地の状況に合わせた都市環境の形成（投資効率を踏まえた用途地域内への計画的な居住環境整備）を進める。

### ⑧ 快適な居住環境を形成する

- ・市街地（益子市街地・七井市街地）の現状・特性や整備水準などに配慮しながら計画的な都市基盤施設（道路・歩道・公園・下水道など）の整備を進める。
- ・各集落等の特性を踏まえた快適な居住環境の形成（生活道路・歩道・公園・排水施設等の基盤施設整備）を進める。



■七井市街地内の区画公園

### ⑨ 町民生活の利便性を高める

- ・より多くの人々が容易で便利に利用することのできる情報通信基盤の整備促進に努めていく。
- ・市街地間（益子市街地・七井市街地）や集落間などの安全で円滑な移動を支える町内道路網の整備・充実を進める。
- ・デマンドタクシー（通称：ひまわり号）の利用促進をはじめ、子供や高齢者などの貴重な移動手段となる公共交通網（真岡鐵道・バス路線等）のサービス向上に努めていく。
- ・より多くの人々の生きがいや生活の質を高めるコミュニティ施設等の利用環境の向上に努めていく。

### ⑩ しごとのあるまちづくりに資する産業環境を充実する

- ・良好な自然環境であり生産基盤でもある豊かな農地の保全に努めていく。
- ・町民の日常の買い物を支える商業環境の整備に努めていく。
- ・既存工業用地における良好な操業環境の保全や、工業専用地域の未利用地への新たな企業誘致等により工業生産環境の充実に努めていく。
- ・伝統的な地場産業である益子焼（窯業）の振興を促す環境づくりに努めていく。



■伝統ある益子焼：登り窯での作業風景

### ⑪ 美しい景観や個性ある街並みを形成する

- ・広々とした田園や潤いのある水辺・里山など、美しい景観資源を大切に守り活かしていき、多くの人が集えるビオトープを考慮した水辺・里山の整備に努める。
- ・益子焼の持つ伝統や文化の雰囲気や醸し出す、益子らしい落ち着いたある街並み形成に向け、サインの統一や質の高い看板・広告物への誘導などに努める。



■田園や里山が織りなす美しい景色

### ⑫ 地域の特徴を活かした環境づくりを進める

- ・益子焼の個性・自然との共生・都市的な生活利便といった、それぞれの地域が有する特色を活かしたまちづくりの方向性を明確化していく。
- ・個性的な地域が相互に連携しながら益子町としての一体感づくりを進めていく。

### ⑬ 協働のまちづくりを進める

- ・地方分権により求められる自立したまちづくりに向け、行政・町民・地縁型のコミュニティ・ボランティア・非営利組織・企業などの協働によるまちづくり推進体制を確立していく。

## 2) まちづくりの基本理念

これからのまちづくりの大きな目標となる基本理念については、上位計画である「益子町第5次総合振興計画」の将来像を最大限に尊重し、町民の日常生活の舞台づくり実現に向け、“これからの都市づくりの視点”を踏まえた「まちづくりのテーマ」として以下のとおり設定します。

### 【益子町第5次総合振興計画における“将来像”】

『創造の器』に 未来かがやく益子町  
～みんなで築く手づくりのまち～

日常生活の舞台である益子町（創造の器）の中で、まちづくりの主役である町民の一人ひとりが、未来に夢を持って生活し、互いに支えあい、分かちあい、新たな文化を創造し、笑顔を輝かせる、という意味を込めたもの



目指し

### 【これからの都市づくりの視点】

- ① 環境との共生を重視する
- ② 益子の伝統や文化を活かす
- ③ 観光の機能を充実する
- ④ 広域の連携や交流の機能を高める
- ⑤ 町民生活の安全性を確保する
- ⑥ 人口減少や超高齢社会に対応する
- ⑦ コンパクトな都市づくりを進める
- ⑧ 快適な居住環境を形成する
- ⑨ 町民生活の利便性を高める
- ⑩ しごとのあるまちづくりに資する産業環境を充実する
- ⑪ 美しい景観や個性ある街並みを形成する
- ⑫ 地域の特色を活かした環境づくりを進める
- ⑬ 協働のまちづくりを進める



踏まえ設定

益子都市計画マスタープランにおける“まちづくりのテーマ”

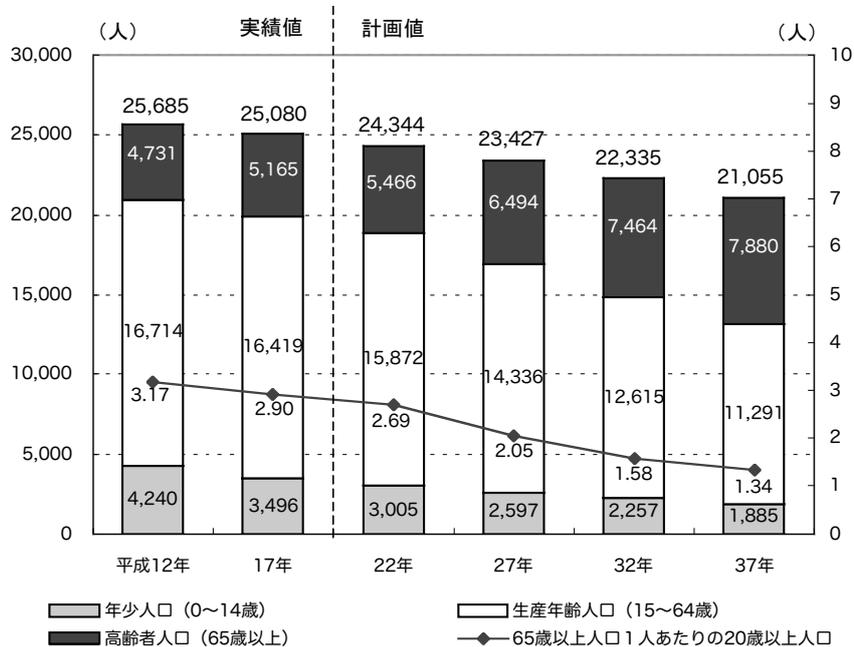
**自然・伝統・交流の魅力に生き生き輝く 豊かな暮らしの器づくり**

豊かな自然、益子焼に代表される伝統、人びとのふれあい、便利な交通環境など、益子町の持つ大切な資源に磨きをかけ、魅力を高めながら、町を訪れる人たちがみんなが楽しく活動し、町民の誰もが豊かに暮らすことのできる舞台づくりを目指すもの

### 3) 将来人口の見通し

これからのまちづくりの基本的な指標となる将来人口については、上位計画である「益子町第5次総合振興計画」の将来的な見通しを踏まえるものとします。なお、益子町の活力や賑わいを測る交流人口については、“観光客入込数”をひとつの目安として捉えていきます。

【益子町第5次総合振興計画における“将来人口の見通し”】

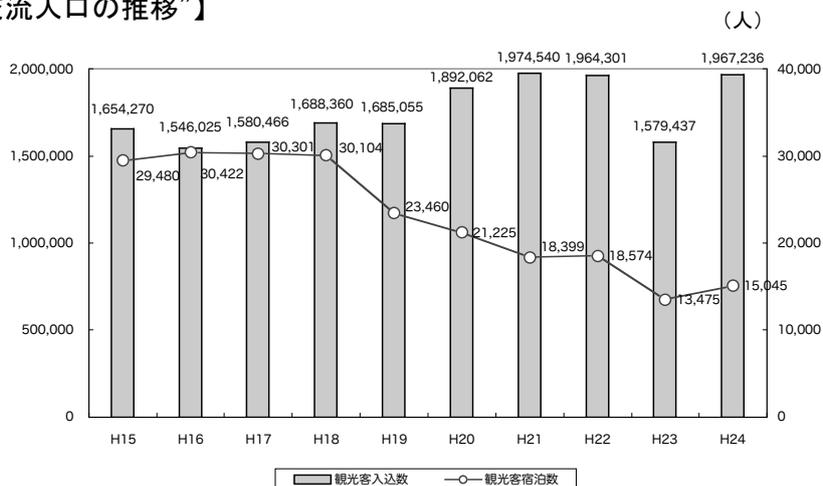


- ・国勢調査人口（平成 17 年基準）によるコーホート要因法に基づき、人口規模を平成 32 年に約 22,300 人、平成 37 年に約 21,100 人と推計している。
- ・平成 22 年時点の推計値（24,344 人）が、国勢調査実績値（24,348 人）とほぼ同値であり、今後においても推計値と同様の推移を辿るものと予測される。

#### 「コーホート要因法」とは

…基準年次の男女別・5歳階級人口をもとに、自然動態（生残人口・出生人口）と社会動態（移動人口）を考慮して推計するもの。

【参考“交流人口の推移”】

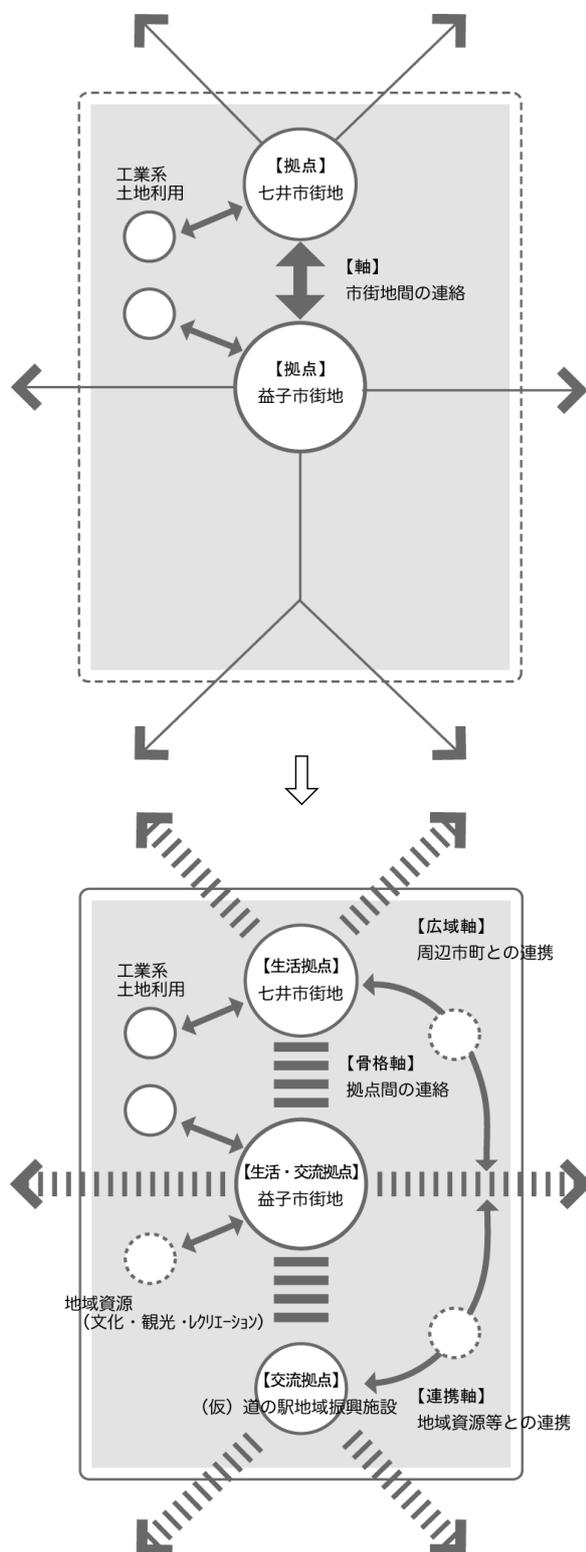


- ・交流人口のひとつの目安となる観光客入込数については、景気回復の兆しから回復傾向にある。

## 4) 将来像の設定

### (1) 拠点・軸の空間構成

“これからの都市づくりの視点”や“まちづくりの基本理念”等を踏まえ、益子町の骨格となる都市空間づくりの概念を以下のとおり設定します。



#### 既存計画

：2拠点1軸を基本とする都市空間

#### 【拠点】

- 益子市街地  
…町の中心的役割を担い、益子焼を活かしたまちづくりを推進
- 七井市街地  
…益子市街地と連携した生活拠点

#### 【軸】

- 益子及び七井市街地間を連絡

#### (工業系土地利用)

- 町経済の一端を担う益子及び七井市街地西側の工業系用地

#### 今回：設定

：多様な拠点・軸により構成される都市空間

#### 【生活・交流拠点】

- 益子市街地  
…町の中心的役割を担い、町民の暮らしや様々な交流を支える魅力の強化、益子焼を活かしたまちづくりを推進

#### 【生活拠点】

- 七井市街地  
…益子市街地と連携した生活の拠点

#### 【交流拠点】

- (仮)道の駅地域振興施設  
…地域振興や広域交流の核となる施設

#### 【広域軸】

- 周辺市町や高速交通網との連携を担う

#### 【骨格軸】

- 益子・七井市街地及び田野地域における中心的集落の連携を担う

#### 【連携軸】

- 各拠点と地域資源のネットワークを担う

#### (工業系土地利用)

- 町経済の一翼を担う益子及び七井市街地西側の工業系用地

#### (地域資源)

- 豊かな自然、文化財、観光・レクリエーション施設など

## (2) 益子町の将来像の設定

“拠点・軸の空間構成”を基本に、“土地利用の骨格”“交通体系の骨格”“水と緑の骨格”からなる、益子町の将来像を以下のとおり設定します。

### 【益子町の将来像】



## — 土地利用の骨格 —

土地利用の配置の基本的な考え方を以下のとおり設定します。

### 《4つのゾーンからなる土地利用》

#### ○都市的市街地ゾーン

##### [益子市街地]

町民の生活全般にわたる各種機能（居住・商業）や、多くの人を訪れる観光・交流機能の集積する、益子焼の伝統・文化を活かした、益子町の中心として相応しい魅力ある環境の形成を図るゾーン

##### [七井市街地]

町民の生活を支える居住機能や商業機能を有した市街地の形成を図るゾーン

#### ○田園都市共生ゾーン

##### [小貝川以西を主体とする区域]

農業環境と調和した居住機能や工業機能を有する良好な環境を確立し、田園との共生を図るゾーン

#### ○田園集落ゾーン

##### [主要な道路沿いに形成される集落地を主体とする区域]

農業生産を中心に形成されてきた田園集落の環境を継続・発展させるゾーン

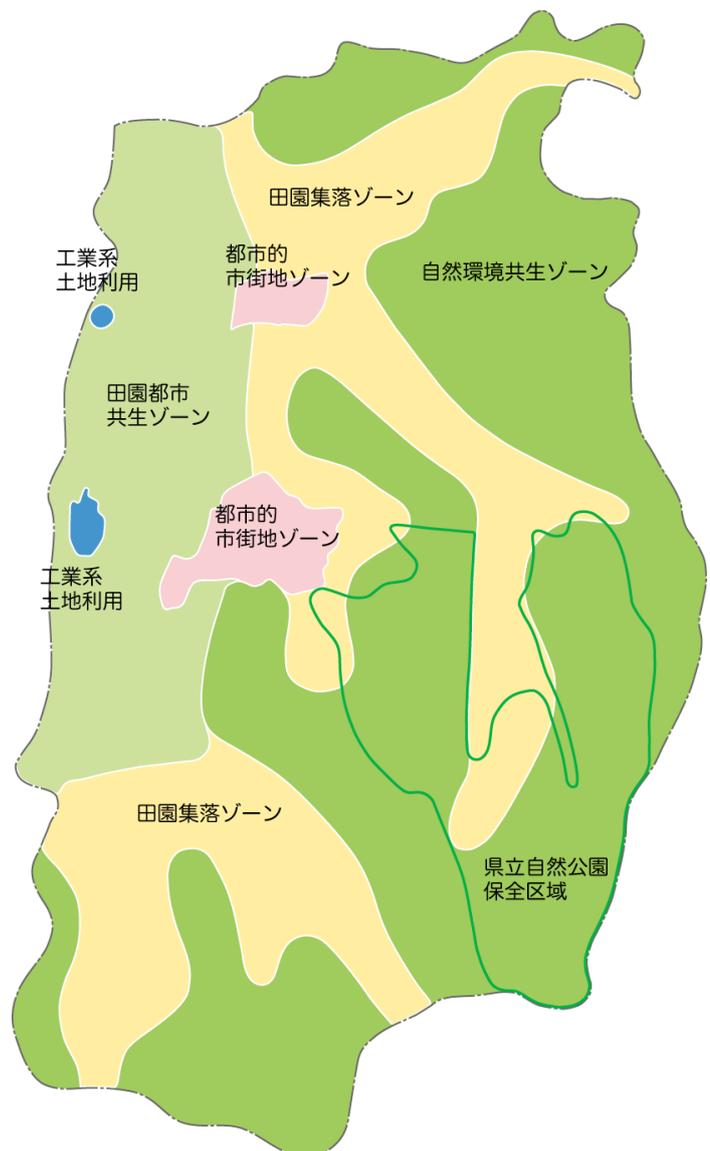
#### ○自然環境共生ゾーン

##### [八溝山系の自然を主体とする区域]

豊かな自然の保全を基本に、観光・レクリエーションなどの楽しみを享受できる場としての活用を検討するゾーン

#### (工業系土地利用)

町経済の一翼を担う工業系用地として良好な操業環境の維持・充実を図る区域



## — 交通体系の骨格 —

交通体系の整備の基本的な考え方を以下のとおり設定します。

### 《2種の幹線道路と真岡鐵道からなる交通体系》

#### ○主要幹線道路

[国道121号、国道123号、国道294号、(主)宇都宮笠間線、(主)つくば益子線、県道下大羽益子線、県道バイパス(整備予定・構想ルート)、都市計画道路(計画路線の一部)等]

広域の連携や交流を高める道路：宇都宮市・真岡市・茂木町などの周辺市町や北関東自動車道(真岡IC・桜川筑西IC)等と連絡

益子・七井市街地及び田野地域における中心的集落を連携する本町の骨格となる道路

#### ○幹線道路

[県道黒田市塙真岡線、県道塙上根線、県道西小塙真岡線、県道山本下大羽線、県道益子公園線、芳賀広域農道、都市計画道路(計画路線の一部)等]

町内の円滑な移動を

支える道路

益子・七井市街地及び田野地域における中心的集落と各地域資源とをネットワークする道路

#### ○公共交通

[真岡鐵道(益子駅・七井駅)]

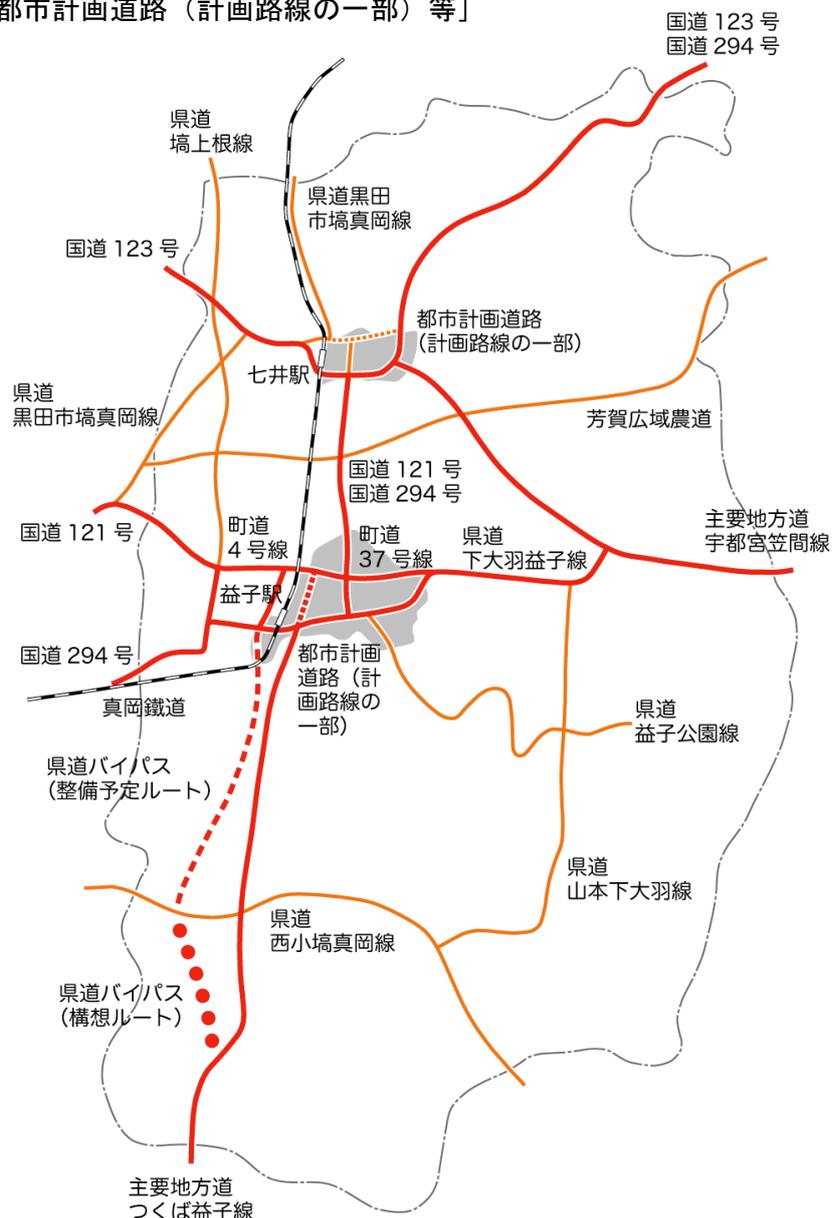
車による交通手段を持たない人達や観光客にとって重要な交通の足となる

[バス交通等]

路線バス・デマンドタクシーなどの最適な組み合わせにより公共交通体系を充実する

#### (都市計画道路)

地域の実情等を踏まえた整備の推進及び見直しの検討



## — 水と緑の骨格 —

水と緑の環境づくりの基本的な考え方を以下のとおり設定します。

### 《県立自然公園や主要な河川からなる水と緑の環境》

#### ○県立自然公園

##### [県立自然公園保全区域]

町民に潤いと安らぎを与える貴重な緑環境の保全・活用

#### ○主要な河川沿いの水と緑

##### [小貝川、小宅川、大羽川、百目鬼川、ぐみ川]

河川環境の保全、親水空間やレクリエーションの場としての活用の検討

#### ○土地利用（4つのゾーン）ごとの水と緑

##### [都市的市街地ゾーン、田園都市共生ゾーン、田園集落ゾーン、自然環境共生ゾーン]

各ゾーンの特色や潤いのある景観づくりに配慮した水・緑環境の保全・創出

#### (地域資源)

##### [高館山、雨巻山、芳賀富士、堂ヶ入沢、大郷戸ダム、前沢周辺、フォレスト益子、円道寺池周辺]

恵まれた水・緑資源を活かした、多くの人を訪れ自然を楽しむことのできる環境づくり

#### (公園・緑地)

##### [北公園、南運動公園]

多くの町民の交流・憩いの場となる公園・緑地の良好な利用環境の保全

